



政府統計

報道関係者 各位

令和3年11月8日

【照会先】

政策統括官付参事官付雇用・賃金福祉統計室

統計管理官 野口 智明

室長補佐 小野 聡

雇用構造第二係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7613)

(直通電話) 03(3595)3145

令和2年「転職者実態調査」の結果

～現在の勤め先に満足な転職者^(注1)は、不満足な転職者を大幅に上回る～
満足度D.I.^(注2)(「満足」-「不満足」)は、42.0ポイント

厚生労働省では、このほど、令和2年「転職者実態調査」の結果を取りまとめましたので、公表します。

「転職者実態調査」は、転職者の採用状況、就業意識等の実態を把握することを目的としています。今回の調査は、5人以上の常用労働者を雇用する事業所から約17,000事業所及びそこで働く転職者から約10,000人を無作為抽出し、令和2年10月1日現在の状況について実施したものです。有効回答率は事業所調査で53.1%、個人調査で55.9%でした。

【調査結果のポイント】

〔事業所調査〕

- 1 「一般労働者(いわゆるフルタイム労働者)がいる事業所」のうち、「転職者^(注1)がいる事業所」割合は33.0%であり、「雇用期間の定め無しの転職者がいる事業所」は28.9%、「1年以上の雇用期間の定め有りの転職者がいる事業所」は8.7%となっている。【5頁 表1】
- 2 転職者を採用する理由(3つまでの複数回答)は、「管理的な仕事」及び「専門的・技術的な仕事」は、「経験を活かし即戦力になるから」及び「専門知識・能力があるから」の割合が高く、その他の職種は「離職者の補充のため」などの割合が高い。【8～9頁 表4】
- 3 今後3年間に「転職者を採用する予定がある」事業所割合は53.3%であり、このうち、「転職者を優先して採用したい」が35.7%、「新規学卒者を優先して採用したい」が12.3%となっている。【13頁 表9】

〔個人調査〕

- 1 転職者が直前の勤め先を離職した主な理由は、「自己都合」が76.6%と最も高い。「自己都合」による離職理由(3つまでの複数回答)は、「労働条件(賃金以外)がよくなかったから」が28.2%で最も高く、次いで「満足のいく仕事内容でなかったから」が26.0%、「賃金が低かったから」が23.8%となっている。【18頁 表15、表16】
- 2 転職者が現在の勤め先を選んだ理由(3つまでの複数回答)は、「仕事の内容・職種に満足がいくから」が41.0%で最も高く、次いで「自分の技能・能力を活かせるから」が36.0%、「労働条件(賃金以外)がよいから」が26.0%となっている。【21～22頁 表21-1】
- 3 転職者の現在の勤め先における職業生活全体の満足度について、D.I.^(注2)(「満足」-「不満足」)は、42.0ポイントであり、男が46.5ポイント、女が35.9ポイントとなっている。【23頁 表22】

(裏面に続く)

(注1)

この調査の「転職者」とは、雇用期間の定めが無い又は1年以上の雇用期間を定めて雇用する一般労働者(いわゆるフルタイム労働者)のうち、当該事業所に雇用される前の1年間に他企業に雇用された経験のある者(移籍出向を含む)であって、令和元年10月1日から令和2年9月30日の間に雇用されたものをいう。ただし、他企業に雇用された経験が、学生アルバイト及び1か月以内の臨時的な仕事のみである場合は含めない。

(注2)

この調査の満足度D.I.とは、「満足」及び「やや満足」と回答した転職者の割合から、「不満」及び「やや不満」と回答した転職者の割合を差し引いた値である。

プラスであれば、満足している転職者の方が多いことを示す。満足、不満のような対照的な属性の構成比があるとき、全体の傾向をみるために差をとったものを一般にD.I.(Diffusion Index: ディフュージョン・インデックス)という。

詳細は別添概況をご覧ください。